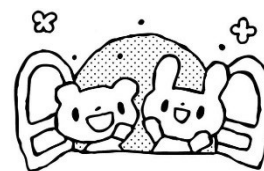


えんだより

キラキラ 8月



2025年8月1日

社会福祉法人尚徳福祉会

保土ヶ谷保育園

連日の酷暑の中、登降園も危険な状態ですね・・・朝食は塩分水分をしっかり摂ってから、お出かけすることをお勧めします。子どもたちは水遊びを行う日がありますので、塩分水分を意識した朝食をお願いします。水遊びは全身に水をかけあう程度です。また短時間で終了するようにしています。水に濡れるのを嫌がったり、やりたくないという場合は無理に行わないようにしています。酷暑の中、夏ならではの経験を安全に楽しくできるようにと考えています。

連日の水遊び・・・まだまだ暑い日が続くので、水遊びが多くなります。いつでも楽しめるよう、おままごとや虫などの玩具を置いてお店屋さん、色水遊びでジュースやさん、石鹸をボールと泡だて器で泡立ててケーキ屋さん、遊びが広がる工夫を色々考えています。

年長児になると、水遊びにも学びがあります。色を混ぜて何色になるか実験し、自分の作りたい色を微調整しながら作ったり、水の量と石鹸の量を変えて泡立ち方の実験をしたり・・・

子どもたちのどうなるだろう？なんでだろう？は様々な遊びに発展していきます。

先日、4歳児が園庭で育てていた、茄子とゴーヤを収穫しました。何を育てるか子どもたちで話し合ってためたのですが、なぜか人気のない茄子とゴーヤになり・・・給食さんが茄子を食べやすい味付けにしてくれ、半分以上の子どもたちが試食。ゴーヤもゴーヤチップスにしてくれたので、こちらは「おいしい！」とたくさん食べていました。3歳児が植えた朝顔も様々な色が咲き大喜び！夏ならではの
おたのしみ、まだまだ考えていきたいと思います。



保土ヶ谷保育園 園長

【熱中症予防と水分補給について】

・熱中症＝脱水症と考えられます。こどもの体内の水分量は体重の70%～80%です。(大人は60%くらい) こどもは水分が多いため脱水症になりやすく、大人以上に水分補給が必要です。体内の水分が不足してくると、のどが渇き、さらに水分がなくなると、めまいや吐き気、食欲減退などができます。そして筋肉のけいれん、失神、生命の危機と進んでいきます。脱水症は全身の病気です。

・水分は、尿、便、汗、呼吸するときなどに、睡眠中も含めて一日中身体の外に出ていきます。猛暑日になれば出ていく水分も増え、熱中症、脱水も増えてきます。1番のこどもの健康管理、熱中症対策は水分補給です。

・水分が足りなくなると尿の回数や量が減り、色が濃くなってきます。色が濃くなった時、臭気が強くなってきた時は急いで水分を摂るようにしてください。水のような尿がお茶のようになり紅茶のようになったら危険信号です！

(福) 尚徳福祉会 理事長 (谷本クリニック院長)

🏠 今月の予定 🏠

20日(水) 避難訓練

22日(金) 夏祭り

(幼児クラス)

27日(水) 幼児集会

○毎日水遊びの準備をお願いします。

(クラスのお知らせをご覧ください)

○体調不良で水遊びをお休みする場合は連絡帳でお知らせください。

※お休みの予定がある方は、おがーるでお知らせください。